

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山岸和美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3112
<b>事務事業名</b>	4036 車両管理事業											
<b>所 属</b>	050100 総務部・総務課											
<b>施 策</b>	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	020106 総務費・総務管理費・車両管理費										
	<b>事業</b>	010000 車両管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
集中何里車両の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全な公務の執行を図る。						集中管理車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。 公用車車体への市PR広告を企業等広告と併せて実施する。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少 エコドライブの推進
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	車両損傷件数				
算式	実績				単位 台
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	6件以下	6件以下	6件以下	6件以下
	実績				
指標選定の理由	公用車を適切に使用し、安全運転を行う上での指標となるため。				
最終年度目標の根拠	過去5年間、年間6件~20件超と事故の発生にばらつきがある（平成27年度は10件）。安全運転を推奨しながら、年間6件以下を目標とする。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		9,091	9,448
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,091	9,448
人員数(人)	正規職員	2.0	2.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,416.0	14,416.0
	嘱託職員	2,705.0	2,705.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,121.0	17,121.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		26,212.0	26,569.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,201	燃料費 2,587、修繕料 292、消耗品費 324
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,890	手数料(車検、点検) 1,116 保険料 193 有料道路通行料 2,410 軽自動車の購入 1,138 公課費 140

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,027	燃料費 3,193、修繕料 460、消耗品費 374
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,421	手数料(車検、点検) 1,393 保険料252、有料道路通行料 2,500 公課費238

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	行政事務のスムーズな執行と車両の安全管理のための経費である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	車両の安全管理に努め、有効に使用している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	議長優先車を一般開放するなど保有車両の有効利用に努めている。 業務遂行に伴う燃料、有料道路通行料及び駐車料金が付随して発生しており、増減の顕著な傾向は見られない。 経費削減につながるようエコドライブを推進していく。	

## 振り返り(決算年度の取組み課題)

車両の安全管理に努めたが、職員による公用車両の事故(損傷)等が減らない状況がある。安全運転の徹底に向けた取組みを強化していく。

